

幸福を得る本当の道は  
ほかの人に幸福を  
分け与えることにある

ロバート・ベーデンIIパウエル

「この世の中を君が受け継いだ  
時より少しでもよくするように  
努力し、あとの人に残すことが  
できたなら、死ぬ時が来ても  
とにかく一生を無駄に過ごさず  
最善をつくしたのだという満足  
感をもって、幸福に死ぬことが  
できる。」と続きます

『ラストメッセージ』より抜粋

ロバート・ベーデンIIパウエル  
ボーイスカウト運動の創始者。  
自身の体験から野外教育を基礎  
にした青少年教育に関心を持ち  
一九〇七年英国ブラウンシー島  
で二十人の少年達と実験キャン  
プを行なった。少年達の成長に  
確信を得て、翌年スカウト運動  
の事務所を設置。現在も世界百  
六十九の国と地域でボーイスカ  
ウト運動が行なわれている。

知識の誘ひ「神社とボーイスカウト」  
神への

ボーイスカウトは入団時に「ちかい」  
をたてます。誠実や感謝等の徳を日々  
養うこと。他人を助ける事。そして  
その実践を神様と自分自身に対して  
誓います。これらの考え方は神道と  
共通する部分も多く、健全な青少年  
の育成の為、全国の神社関係者によ  
るスカウト組織が昭和三十六年に  
発足。その年の夏には神宮が鎮座す  
る三重県伊勢市にて、神社スカウト  
達が一堂に会する全国大会が開催さ  
れました。全国の神社の杜の中で、  
神様に見守られながら多くの若者達  
が現在も活動をしています。

